

川の通信簿の実施

～ 観光資源として魅力ある河川空間をPR～

この水辺は
お気に入り。
毎月きてるね

住民、NPO等とともに、観光資源として魅力ある河川空間を評価し、地域活性化に資する施策を実施。その魅力をPR！

この水辺は
若者に人気
なんです。
もちろん
です。



水辺って
気持ちいい！
またこようね。

ここが 川
100景の魅力の
ポイントです。

ここが
の
ルート。爽快！



この地図上の評価はダミーであり、実際の評価結果ではありません

「子どもの水辺」再発見プロジェクト

(文部科学省・国土交通省・環境省連携プロジェクト)

「子どもの水辺」における活動の様子

地域の市民団体、教育関係者、河川管理者等が一体となって、子どもの水辺協議会を設置。

「子どもの水辺サポートセンター」が活動を支援（資機材の貸出，活動のコーディネート等）。

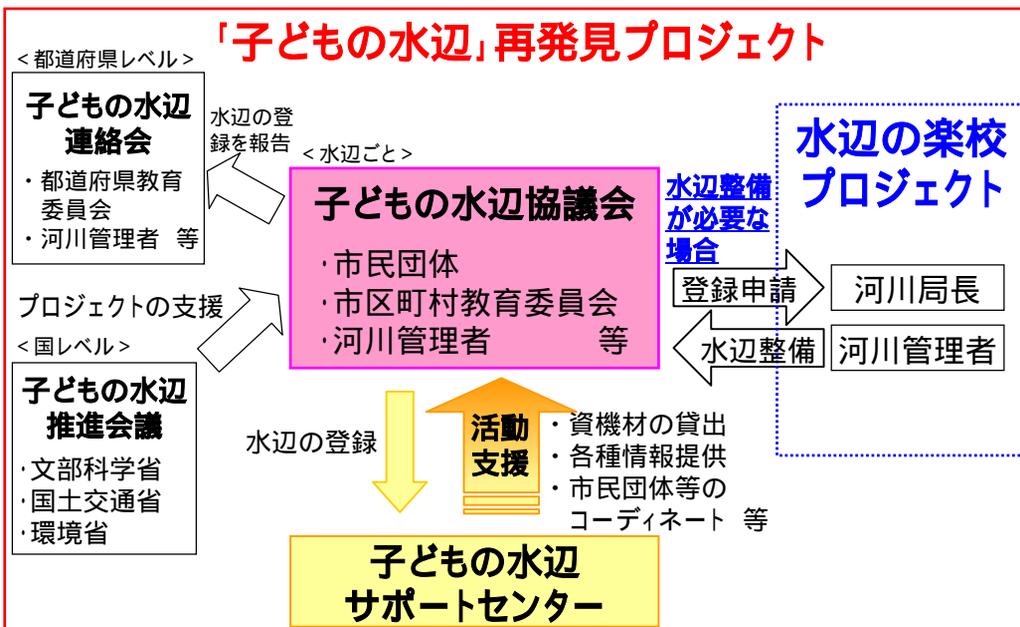
必要に応じて「水辺の楽校プロジェクト」により施設整備を実施。



【近木川(大阪府)】

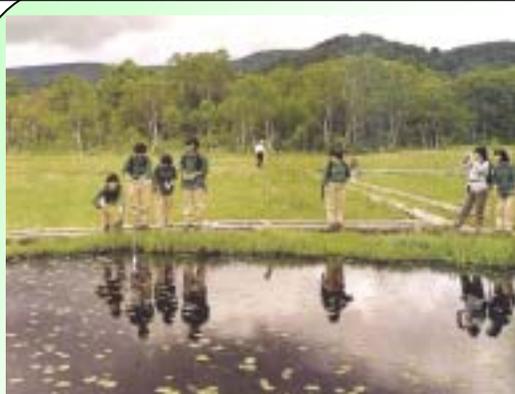


【大入川(愛知県)】

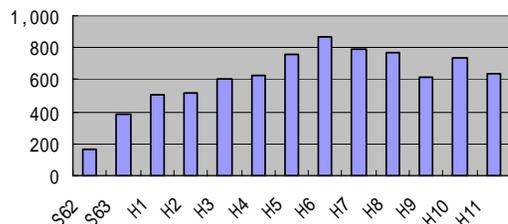


自然再生の推進による観光ポテンシャルの向上

自然とのふれあい・環境教育の場



釧路湿原利用者数（自然公園利用者等調べ）



「自然再生」の推進により、自然豊かな国土を取り戻し、動植物などの「自然とのふれあい」・「環境教育の場」として、観光ポテンシャルの向上を図る。



▲霧多布湿原の木道（浜中町）

湿地は渡鳥の貴重な居留地・中継地



日本の湿地を利用する渡鳥

シギ・チドリ類
マガン
コハクチョウ
コガモ
オオワシ
イソシギ 等

日本のラムサール条約登録箇所 11カ所中9カ所が湿地環境を有する

蛇行河川と釧路湿原



▲秋の釧路湿原（釧路町）